

平成26年度 第38回全国高等学校ハンドボール選抜大会

戦 評 用 紙

試合番号

お

男子・女子 1回戦 ・ 準々決勝 ・ 準決勝 ・ 決勝

会場 スカイホール豊田 Aコート 岡崎中央総合公園総合体育館 コート

不来方	32	18 — 13	23	市岐商
チーム名	総得点	14 — 10	総得点	チーム名
		7mTC		

選拔出場回数20回を超える常連校同士の戦いは、スローオフ直後、市岐商10番山田のミドルシュートで始まった。試合序盤は、両者がチームの特色と語るDFが目立つ立ち上がりとなった。市岐商は、ハイプレッシャーDFから速攻につなげ、ゲームを展開する。対する不来方も堅い守りで連続得点を与えない。前半を優勢に進めたのは不来方だった。相手選手が退場するチャンスを見逃さない不来方は、5番宮崎、9番菅野の速攻を始め、5連続得点で相手を突き放す。市岐商も7番石原、10番山田のミドルシュートで応戦するも、不来方が6点リードで前半を折り返す。後半流れをつかんだのは不来方。12番小河原の好セーブから3番山口、4番富樫を始めとする巧みな速攻で、6連続得点で再び相手を突き放す。市岐商も粘りを見せチャンスを作るも、不来方12番小河原が好セーブを連発し、32-23で不来方が2回戦に駒を進めた。両者の粘り強いDFと速攻が見応えのあった好ゲームであった。

2015年 3月 25日 AM・PM

記者氏名 宮島 涼